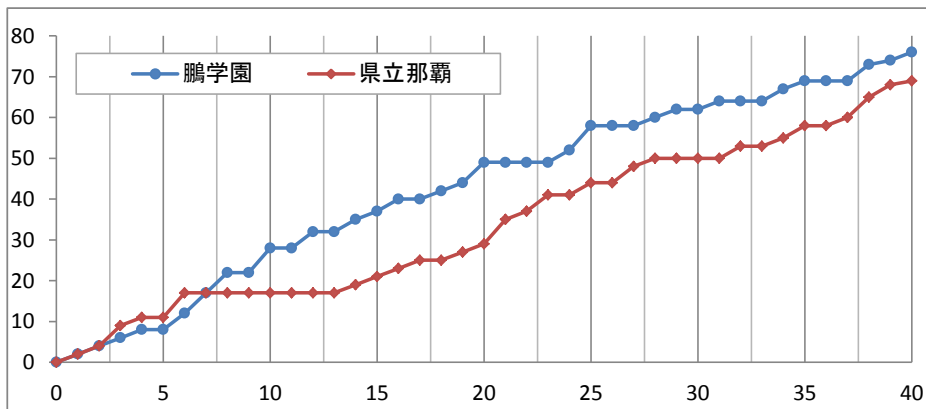


平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

女子 1回戦
主審 大庭 英裕
副審 大林 裕子

鵬学園 76 (石川) ○
69 県立那覇 ● (沖縄)

No. 29g3 日時: 2013年7月29日(月) 12:50 会場: ダイハツ九州アリーナ



鵬学園

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 古田 有希 (C)	30	2	11	2	0
5	天坂 莉菜	0	0	0	0	0
6	宮下 真里奈	3	0	0	3	0
7	* 鷹合 優菜	17	3	4	0	1
8	* 川東 桃子	0	0	0	0	2
9	* 高僧 沙奈美	14	1	5	1	1
10	出島 凧朝	0	0	0	0	0
11	* 上浜 千明	6	0	3	0	0
12	天坂 怜香	4	0	2	0	2
13	松本 真衣	2	0	1	0	1
14	中川 春菜	-	-	-	-	-
15	中村 未来	-	-	-	-	-
コーチ	柿島 誠一					
合計		76	6	26	6	7

県立那覇

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	島袋 巴菜 (C)	0	0	0	0	2
5	喜納 璃理華	0	0	0	0	0
6	照屋 利歩	2	0	1	0	3
7	具志堅 茅乃	-	-	-	-	-
8	石垣 美夢	0	0	0	0	0
9	大城 千慧	-	-	-	-	-
10	安里 李実香	0	0	0	0	1
11	* 嘉数 咲野	14	1	4	3	2
12	* 比嘉 友里菜	8	2	1	0	3
13	* 中山 美裕	13	1	5	0	3
14	* 金城 菜子	16	2	4	2	4
15	* 渡久地 結香	16	0	6	4	1
コーチ	屋嘉 謙呉					
合計		69	6	21	9	19

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

1回戦、鵬学園対県立那覇の試合、両者ハーフからのマンツーマンでスタート。第1ピリオド序盤、県立那覇は#13、#15の粘り強いリング下のプレーで8-17とリード、たまたま鵬学園がTOをとる。この後、硬さのとれた鵬学園は#11のドライブから流れが変わり、コートを大きく使ったOfで一気にリズムをつかみ、#4を中心に得点を重ね、#7のブザービーターで、28-17鵬学園リードして第1ピリオドを終了。

第2ピリオド、県立那覇はDfを2-3ゾーンに変える。鵬学園は長身の#12を入れリング付近のDf強化を図る。これが功を奏し4分30秒間、県立那覇の得点が止まる。その間、鵬学園は#12がパスをポストで中継しながら、#4、#9の3Pやバスケットカウントなど多彩な攻めを見せ、前半を49-29鵬学園リードで折り返す。

第3ピリオド立ち上がり、県立那覇が#14の連続3Pで反撃開始、一気に10点差まで迫まったところで、鵬学園がTOをとる。県立那覇はDfを寄りの速いマンツーマンに戻す。鵬学園はここで全員がよく走り、連続のファーストブレイクで58-41と突き放す。ここでたまたま県立那覇はTOをとる。県立那覇は、オフェンスのリズムを取り戻し、#11と#6のガード陣が速い展開を仕掛け、#15のバスケットカウント、#14の1対1などで粘り、62-50で第3ピリオドを終わる。

第4ピリオド、じりじりとした守り合いから試合が動き出したのは鵬学園の#7、#4のドライブインからであった。これに対して県立那覇は#14のジャンプシュート、#12の3Pで追いつがる。残り2分71-62で県立那覇が2度目のTO。県立那覇は#13、#11の連続3P、1分を切って激しいDfで必死追いかける。しかし冷静に最後まで試合を支配した鵬学園が粘る県立那覇を76-69で振り切った。両チームとも持ち味である走るバスケットを十分に発揮した試合であった。

| 記者 | 貝ヶ石 知昭 (所属) 大分県バスケットボール協会